

地方教育行政の組織及び運営に関する
法律第26条第1項の規定に基づく

教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価

(令和5年度対象)

令和6年8月
流山市教育委員会

— 目 次 —

1. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価について	1
2. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の実施	2
(1) 点検・評価の対象	
(2) 点検・評価の方法	
3. 流山市一般会計歳出予算と流山市教育委員会歳出予算	3
4. 点検・評価結果	
Ⅰ 子ども・子育て	
Ⅰ－1 学童クラブの充実	4
Ⅰ－2 青少年の健全育成の促進	5
Ⅱ 学校教育	
Ⅱ－1 確かな学力の育成	6
Ⅱ－2 教育環境の整備	9
Ⅱ－3 児童・生徒の安全確保と健康増進	16
Ⅱ－4 特別支援教育、教育相談の充実・構築	18
Ⅱ－5 つながりのある教育	19
Ⅲ 生涯学習	
Ⅲ－1 多様な生涯学習機会の充実	20
Ⅲ－2 生涯学習の環境整備	21
Ⅳ 文化芸術・歴史	
Ⅳ－1 市民主体の文化芸術活動の促進	25
Ⅳ－2 歴史的文化的遺産の保存・活用	26
Ⅴ スポーツ	
Ⅴ－1 スポーツ活動の促進	27
Ⅴ－2 スポーツ環境の整備	28
5. 学識経験者の意見	29

1. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

点検・評価は、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、教育行政の推進に資するとともに住民への説明責任を果たしていくことを目的としたものです。

点検・評価の具体的な方法については、各教育委員会が実情を踏まえて判断することとされており、流山市教育委員会では、流山市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱（平成24年流山市教育委員会告示第15号。以下「要綱」という。）を定めて点検・評価を実施しているところです。

流山市教育委員会では、国や県の教育振興基本計画をもとに、流山市の総合計画にのっとり「流山市教育振興基本計画」を策定するとともに、本市教育行政における年度ごとの教育施策を定めた「流山市の教育施策」を毎年度策定し、教育行政の一層の充実・推進に努めています。

この点検・評価の報告書は、「流山市の教育施策」に掲げる各施策の分野ごとの重点事業等の執行状況について、教育に関する学識経験を有する方々の知見を活用し、その取組状況を検証し、成果と課題について点検・評価を行い、その結果を報告するものです。

○流山市教育振興基本計画の基本理念

<学校教育>【学びに向かう力と自立する子どもを育む】

流山市の学校教育においては、「生きる力」を育むという理念を踏まえ、児童生徒一人一人が生き生きと学べる豊かな教育活動を実践する。そして、子どもたちの可能性を引き出す教育の実現を目指していく。また、流山市の子どもたちが自信を持ち、いろいろなことに挑戦し、未来に活躍できる「自立・自律」した子どもが育つよう、流山の教育を推進する。

<生涯学習>【豊かな人生と文化芸術を創造するまちづくり】

生涯学習においては、豊かな人生につながる生涯学習の推進と文化芸術の醸成・歴史の継承、スポーツの振興を目指して、市民の学習要求に応える機会と場を提供していく。そして、地域の環境づくりとともに、文化芸術・歴史・スポーツに親しむ機会の創造のために、事業を推進する。

2. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うことが義務付けられており、その際、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされています。

流山市教育委員会においてもこの規定にもとづいて点検・評価を行い、報告書をまとめるとともに公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（1）点検・評価の対象

点検・評価の対象は、要綱第2条において「毎年度策定する教育施策に基づく主要施策に関する事務のうち、教育行政の推進上重要な課題に係るものその他点検及び評価を行うことが必要と認める事務として委員会が選定したもの」と規定していることから、令和5年度の「流山市の教育施策」に掲げる各施策の分野ごとの重点事業を点検・評価の対象とします。

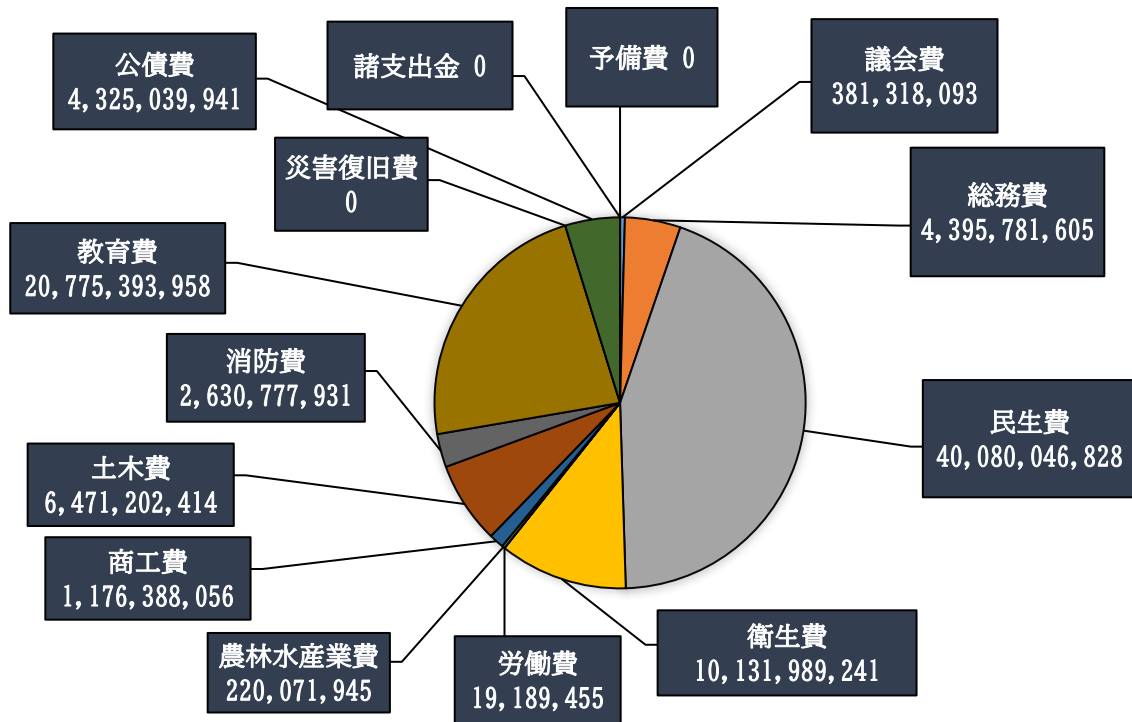
（2）点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、現状や背景を踏まえ、施策・事業の目標に対する実績を明らかにします。また、法に基づき、点検・評価の客観性を確保するため、学識経験を有する外部の方から御意見をいただき、これらをもとに、結果を取りまとめて議会に提出するとともに、公開します。

3. 流山市一般会計歳出決算見込みと教育委員会歳出決算見込み

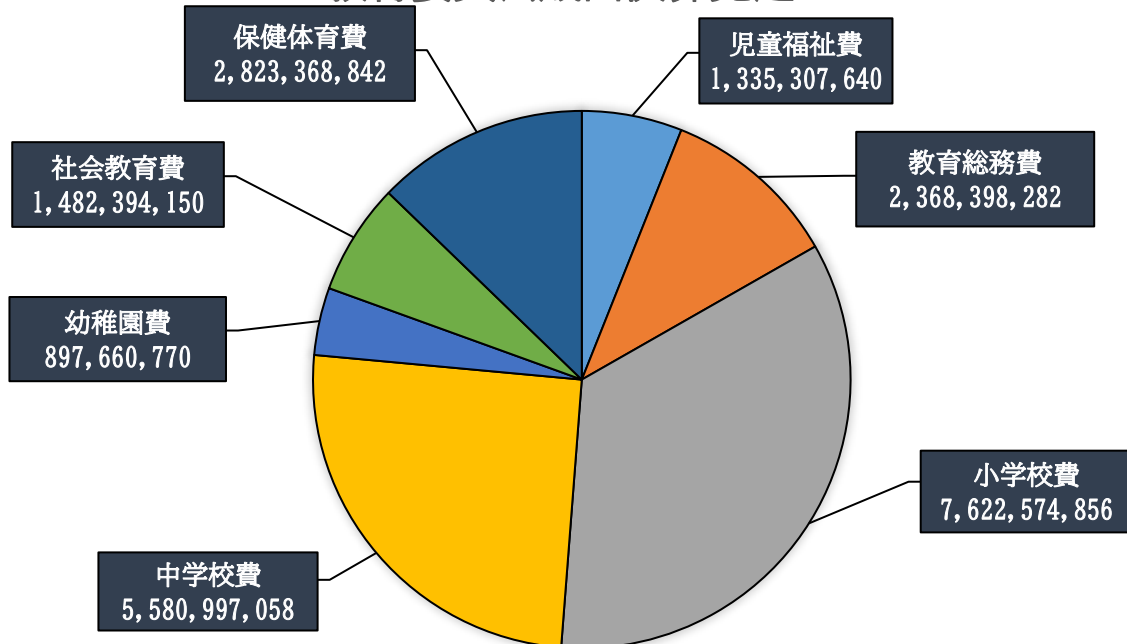
単位：円

令和5年度流山市一般会計歳出決算見込み



合計：90,607,199,467円

教育委員会歳出決算見込み



合計：22,110,710,598円

※児童福祉費は民生費のうち学童保育に要する経費を記載

I 子ども・子育て

I-1 学童クラブの充実

学童保育運営事業		就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	189,889		172,952		18,067	214,609	123,785	90,824
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
研修開催件数(件)	2	2	2	放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		50,983	69,775	77,255
				学童クラブの延べ利用人数(人)		33,638	39,025	42,927
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 支援員や補助員に対する研修の実施や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に努めました。				・現状 学童クラブの利用者数が増えており、利用者のニーズも多様化しています。合わせて、支援員の数も増えています。				
・評価 アレルギー研修及び保護者とのコミュニケーションについて研修を行い、各法人のスキルアップを図りました。また、支援員や補助員に対する処遇改善を行うことができました。				・課題 学童クラブ利用者の多様化するニーズに応えることや、新しい支援員に対する研修等のアプローチが必要です。				
・課題に対する改善点 学童クラブ利用者からのアンケート結果を踏まえたテーマで、支援員等に対する研修を実施しました。また、支援員の安定的な確保に資するため、継続して処遇改善を行いました。				・取組 法人が抱えている課題をヒアリングし、必要な研修を行うとともに、支援員の安定的な確保に資するため、処遇改善を実施します。				

I-1 学童クラブの充実

学童クラブ施設整備事業		児童数の増加に対応するため、学童クラブの施設整備を行います。また、東小学校区学童クラブの排水施設整備工事を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	496,387		474,613		7,052	30,403	8,176	22,227
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,240	3,748	3,748	待機児童数(3月末)(人)		0	0	0
学童クラブの整備後の施設数(施設)	37	39	39					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 各種工事を遅滞なく終わらせるとともに、学童クラブに必要な備品等を整備し、令和6年度の開所を迎えられるよう整備を進めました。				・現状 荒天時に水がたまりやすい箇所があることから、東小学校区学童クラブにおいて排水施設の整備が必要な状態です。				
・評価 市野谷小学校区学童クラブと南流山第二小学校区学童クラブを令和6年4月1日より開設することができました。				・課題 学童クラブの運営に支障がないように、東小学校区学童クラブにおける排水施設の整備工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 学校施設と同時に整備することから、関係機関と調整をとり計画的に進めていくことが課題であり、そのため関係者との協議を繰り返し行い情報共有を図った結果、予定どおり整備することができました。				・取組 東小学校区学童クラブ排水施設整備工事を実施します。				

I 子ども・子育て

I-2 青少年の健全育成の促進

青少年相談事業		青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
文化芸術・生涯学習課		5,411		5,427		0		6,546	0	6,546
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
相談件数(件)		55	61	-						
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
取組					・現状					
広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めました。					平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設しています。これに加え、令和4年度は休日に6回、令和5年度は平日の時間外に6回、特別相談窓口を開設しましたが、相談件数に大幅な増減はありませんでした。					
評価					・課題					
平日の時間外に6回、特別相談窓口を開設しましたが、相談件数には結び付きませんでした。					より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させる必要があります。					
課題に対する改善点					・取組					
相談室だよりを年4回発行し、市内小・中・高等学校や公民館、図書館等へ配布し、相談室の周知を図りました。また、相談内容に応じて適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関の情報収集に努めました。					スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めます。また、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めます。					

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－１ 確かな学力の育成

小中学校外国語教育推進事業	小中学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。小学3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。中学校には、全10中学校に1名ずつALTを配置します。（令和6年度から小中学校の同事業を統合し、「小中学校外国語教育推進事業」としました。令和5年度までは、「小学校英語活動推進事業」の実績が記載されています。）							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	65,415		65,415	7,052	108,406	0	108,406
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	小中学校ALT配置数（人）	10	10	20	英語教育実施状況調査（文部科学省） におけるALT等の活用状況（％）	98	98	78
	英語活動指導員の指導時間の合計（時間）	11,760	11,620	12,635				
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 授業参観や研修会をとおして、ALT等を活用した英語を聞く、話す活動の充実及び、授業における指導と評価の一体化に取り組みしました。					・現状 小学校では、ALTスーパーバイザーを活用し、市内統一した形でのチームティーチングの授業の型ができつつあります。中学校では、ALTとのコミュニケーションを通じて異文化理解を深めるなど、効果的な活用が図られています。			
・評価 小学校では、ALTスーパーバイザーの授業参観等をおとして市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALT個々を生かしながら、生きたコミュニケーションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。					・課題 小学校では、ALT等と連携しながら、学習のねらいに即した授業づくりを行うことが課題です。中学校では、ALTの効果的な活用を図るとともに、小中連携の視点を持ち、質の高い授業づくりを行うことが課題です。			
・課題に対する改善点 学習課題に対する適切な活動の設定と評価についての理解が深まりました。					・取組 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組んでいきます。			

Ⅱ－１ 確かな学力の育成

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	27,609		27,609		7,052	33,662	0	33,662
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.5	1.5	1.2	小学校図書貸出冊数(R6.3月)(冊)		350,000	320,000	320,000
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しました。探究的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入しました。					・現状 学校図書館司書の増員や、図書の充実を図ることにより、充実した学校図書館教育を目指しています。				
・評価 インターネット百科事典が導入され、各教科で探究的な学習の一助として活用されました。また、学校図書館司書の日常の取組や、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。					・課題 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。					・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の利用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－１ 確かな学力の育成

中学校ALT配置事業	外国語指導助手（ALT）を全小中学校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかで生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
指導課	41,256		41,256		7,052	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
中学校ALT配置数（人）	9	10	-	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるALT等の活用状況（％）		62	62
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 外国語指導助手（ALT）を全小中学校に配置し、幅広い外国語教育の推進を目指しました。学校生活のなかで生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図るとともに、英語を聞く、話すという取り組みを強化しました。				・現状 本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。			
・評価 全小中学校に配置されたALTが、外国語の授業だけでなく、学校生活のなかで児童生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を促すことができました。				・課題 本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。			
・課題に対する改善点 英語を活用するという視点において、目的・場面・状況の設定をすること、ICTの活用のタイミング、またその評価について理解を深めました。				・取組 本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。			

Ⅱ－１ 確かな学力の育成

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
指導課	17,741		17,741		7,052	19,977	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）（校）	1.7	1.5	1.4	中学校図書貸出冊数（R6.3月）（冊）		31,000	35,000
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しました。探求的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入しました。				・現状 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しています。システムの更新に伴い、生徒がよりスムーズに本の検索ができるように、環境を整えます。			
・評価 インターネット百科事典が導入され、各教科で探求的な学習の一助として活用されました。また、学校図書館司書の日常の取組や、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。				・課題 さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。			
・課題に対する改善点 さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。				・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。			

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－１ 確かな学力の育成

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	8,283		8,283		14,104	9,534	6,050	3,484
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	市内各中学校区本部設置数（校）	9	10	10	地域による学校支援年間参加延べ人数（1月まで）（人）		51,705	58,550	65,000
令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校へのヒアリングやコーディネーター研修会等を通して、各校の実態を把握することで、さらなる改善に努めました。				・現状 コミュニティ・スクールの全10中学校への導入完了に向けて、準備を進めています。					
・評価 学校支援コーディネーターの尽力により、地域の人材を積極的に活用したことで、学校や子どもたちのニーズに合った支援を行いました。				・課題 学校運営協議会において、学校の実情や地域の特色を生かした熟議ということまで進んでいないことが課題です。					
・課題に対する改善点 地域によって、人材不足等の課題があるため、地域の特色にあった人材をより広い視野で確保することに努めました。				・取組 学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取り組みへの協議を実施します。					

Ⅱ－１ 確かな学力の育成

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	22,470		22,021		7,052	47,123	0	47,123
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	民間委託実施校数(校)	1	7	13	一人当たりの実施回数(回)		3	3	3
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校施設課と連携し、できる限り学校から近い場所で実施可能な委託業者を増加させました。					・現状 今年度は、新たに6校を追加して、計13校で実施する予定です。				
・評価 児童からは、水泳授業がより充実した内容であったと高い評価を受け、教職員からは、施設管理面の運営負担が軽減されたと、業務改善の一助となりました。(児童・教職員ともに90%以上の高評価)					・課題 各学校からより近い委託業者を開拓するなどして、移動時間の短縮を図る必要があると考えます。				
・課題に対する改善点 令和6年度以降の事業拡大を見据えて、より多くの委託業者の開拓を行いました。					・取組 天候に左右されず実施でき、インストラクターの専門的な指導を受けられるという民間委託のメリットを活用し、子どもたちの充実した学習につなげていきます。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備

ICT学習空間整備事業		児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
指導課	490,354		490,354		14,104	409,710	16,545	393,165
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	17,995	18,471	19,194	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)(人)		1	1	1
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 ICT教育推進リーダーの育成を図るため、計画的に研修会を実施しました。各研修会において、ICT機器の効果的な活用事例を紹介し、活用促進に努めました。				・現状 ICT教育推進リーダーの育成に引き続き取り組む必要があります。他地域や各学校での効果的な活用について情報発信に努め、活用促進を図る必要があります。				
・評価 研修の機会を設定し、各校でICT教育推進の中心となる人材の育成に努めた結果、市で導入している学習支援ソフトの活用率が向上しました。				・課題 職員により、ICT活用に差がある実情を改善することが課題です。				
・課題に対する改善点 全体のICT活用率は向上しましたが、職員により差があるため、活用する側のニーズ把握に努めました。プログラミング教育については、事例を蓄積し流山独自のカリキュラムを作成中です。				・取組 研修を実施する際、研修内容について工夫します。初級・中級・上級等の活用レベル別や教科別等、活用する側のニーズにあった研修を実施していきます。ICT機器環境の整備についても、ニーズにあった内容を計画的に整備していけるよう努めます。				

Ⅱ－２ 教育環境の整備

小学校校舎等改修事業		小学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	107,559		845,275		21,156	14,515	14,515	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
ロッカー改修を要する教室数(室)	-	304	262	ロッカー改修教室数(室)		-	42	36
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校運営に支障の無いよう、発注者、施工者及び学校との各種調整を適宜に実施しました。				・現状 教室ロッカーの改修は児童不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。				
・評価 屋内運動場への空調機設置やエレベーター増設の補正予算事業も遅滞なく完了できました。				・課題 改修を要するロッカーの全てを早期に完了させる必要があります。				
・課題に対する改善点 安全を確保しながら工程内で工事を完了させるよう、学校の理解と協力を得て進めることができました。				・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備

中学校校舎等改修事業		中学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	99,969		668,446		10,578	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
東深井中学校エレベーター 設計(%)	30	100	-	エレベーター整備台数(基)		-	1	-
東深井中学校エレベーター 増築工事(%)	-	100	-					
令和5年度の実績と評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 学校運営に支障の無いよう、発注者、施工者及び学校との各種調整を適宜に実施しました。					・現状 西初石中学校の外壁及び屋上防水機能が劣化しています。			
・評価 エレベーター増築工事を完了させ、令和6年度から供用開始することができました。					・課題 早急に対応する必要があります。			
・課題に対する改善点 安全を確保しながら工程内で工事を完了させるよう、学校の理解と協力を得て進めることができました。					・取組 国庫補助金を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒しして、西初石中学校の外壁及び屋上防水機能の劣化について改修を図ります。			

Ⅱ－２ 教育環境の整備

給食室等改修事業		学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している箇所を改修し、調理環境の向上を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	24,221		42,479		10,578	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
給食室への空調設備設置学校数	10	-	-	長崎小学校給食室建替え工事の進捗率(%)		100	-	-
令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 発注者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施しました。				・現状 流山小学校、東小学校、西深井小学校、北部中学校の給食施設の外壁及び屋上防水機能が劣化しています。				
・評価 各工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より供用開始することができました。				・課題 食品へ雨水が混入する危険や、漏電による機器故障などの恐れがあるため、早急に対応する必要があります。				
・課題に対する改善点 給食室の運営に支障がないよう、工事を進めることができました。				・取組 国庫補助金を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒しして改修を進めます。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備

新設小学校（おおたかの森地区）建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月に「市野谷小学校」を開校しました。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校施設課	3,730,076		4,024,185		24,682	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
					設計業務の進捗率（％）	100.0	-	-	
					工事の進捗率（％）	11.5	100.0	-	
	令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
	・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行いました。				・現状 令和5年度で事業は終了しました。				
	・評価 安全を優先として工程管理を行い、令和6年4月の開校に至りました。				・課題 令和5年度で事業は終了しました。				
	・課題に対する改善点 遅滞なく開校に至りました。				・取組 令和5年度で事業は終了しました。				

Ⅱ－２ 教育環境の整備

南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、東洋学園大学旧校舎を改修して、令和6年4月から南流山中学校を移転開校しました。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校施設課	2,788,758		3,034,978	30,610	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
					設計業務の進捗率(%)	100	-	-
					工事の進捗率(%)	2	100	-
令和5年度の実績と評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組					・現状			
工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行いました。					令和5年度で事業は終了しました。			
・評価					・課題			
安全を優先して工程管理を行い、令和6年4月に移転開校できました。					令和5年度で事業は終了しました。			
・課題に対する改善点					・取組			
遅滞なく令和6年4月の移転開校に至りました。					令和5年度で事業は終了しました。			

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備

南流山第二小学校改修事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校しましたが、体育館のみ、中学生の活動に配慮して、令和6年の夏休み期間中に改修するものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校施設課	145,953		319,722		21,156	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					設計業務の進捗率(%)		100	-	-
				改修工事の進捗率(%)		-	90	100	
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 作業エリアには遮音性のある仮間仕切りを設置し、生徒・教職員と工事関係者が交錯しないよう努めました。					・現状 令和6年4月から南流山第二小学校は開校しましたが、南流山中学校の学校運営を優先し、体育館の工事が未着手のままとなっています。				
・評価 安全を優先して工程管理を行い、令和6年4月に開校できました。					・課題 バスケットゴールやステージ舞台機構の改修工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 令和5年度は、中学校を運営しながらの施工となるため、生徒・教職員の安全確保が課題でしたが、学校現場の理解を得て十分な作業区域を確保できました。					・取組 改修にかかる予算は令和5年度に前倒しして、学校運営に支障のないよう、夏休みを中心に工事を行います。				

Ⅱ－２ 教育環境の整備

南流山中学校移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。							
南流山中学校移転先用地・建物買取事業							
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
学校施設課	901,727	1,321,726	3,526	254,813	249,608	5,205	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
				用地取得率(%)	-	-	12.5
				建物取得率(%)	59.0	100.0	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 支払処理に遅滞のないよう、財産活用課と情報を共有しました。				・現状 建物分は令和5年度に取得を終え、令和6年度からは用地費の支払いが発生します。			
・評価 遅延なく処理を行いました。				・課題 遅延のないよう処理します。			
・課題に対する改善点 財産活用課との情報共有は問題ありませんでした。				・取組 財産活用課と情報を共有して執行します。			

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備

小学校校舎等リニューアル事業	老朽化の進んだ小学校をリニューアルすることで、建て替えることなく供用を継続するものです。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	37,983		0		7,052	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				設計業務の進捗率(%)		-	50	100
				江戸川台小学校リニューアルの進捗率(%)		-	-	30
令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 現況調査を実施し、改修内容の検討を行いました。				・現状 夏休みを中心に改修工事に着手します。				
・評価 改修設計を進め、工事の発注を行いました。				・課題 児童・教職員の安全を優先して工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 改修が必要な部位や設備等の整理を進めました。				・取組 児童が居ながら改修工事となるため、夏休みを中心とした工事となり、きめ細かく工程管理を行います。なお、国庫補助金を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒して実施しています。				

Ⅱ－２ 教育環境の整備

担任サポート教員配置事業	学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校教育課	27,571		28,272		706	30,577	0	30,577
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	担任サポート教員配置数(人)	12	9	9					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。				・現状 令和6年度は小山小学校5年生8学級に配置します。					
・評価 適正な配置人数である9名を確保しました。				・課題 児童生徒数推計値の学級数に対応する人員配置を行い、令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。					
・課題に対する改善点 小山小学校における35人学級計画整備として、令和5年度は特別支援6学級を3教室で運用、増設等に3教室増設、学童と教室の共有(2教室)を実施しました。				・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。					

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備

南流山第二小学校整備事業	令和6年4月開校の南流山第二小学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	教育総務課	23,373		23,330	4,232	3,200	3,200	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合(%)	-	89.71	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 令和6年4月、南流山地区に新規開校する南流山第二小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。					・現状 南流山第二小学校が開校する前年度に、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、開校後も学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。			
・評価 南流山第二小学校の開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。					・課題 南流山第二小学校の開校後、年間の学校活動を通して必要となる消耗品を整備し、教育環境のさらなる充実に努める必要があります。			
・課題に対する改善点 必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。					・取組 学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。			

Ⅱ－２ 教育環境の整備

市野谷小学校整備事業	令和6年4月開校の市野谷小学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	教育総務課	23,261		23,126	4,232	2,650	2,650	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合(%)	-	89.71	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年4月、おおたかの森地区に新規開校する、市野谷小学校の開校時まで に、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。				・現状 市野谷小学校が開校する前年度に、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品 等の整備を行ったが、開校後にも学校教育活動を行うなかで必要となった事 務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。				
・評価 市野谷小学校の開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の 整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。				・課題 市野谷小学校の開校後、年間の学校活動を通して必要となる消耗品を整備 し、教育環境のさらなる充実に努める必要があります。				
・課題に対する改善点 必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育 環境を整備しました。				・取組 学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗 品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－２ 教育環境の整備							
南流山中学校移転整備事業		令和6年4月、東洋学園大旧校舎に移転開校する南流山中学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。					
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
教育総務課	18,119		18,019		4,232	3,200	3,200
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合(%)		-	84.19
							100.00
令和5年度 of 取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 令和6年4月、東洋学園大学旧校舎に移転開校する南流山中学校の供用開始時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。				・現状 南流山中学校が移転開校する前年度に、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行ったが、開校後にも学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。			
・評価 南流山中学校の移転開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。				・課題 南流山中学校の移転開校後、年間の学校活動を通して必要となる消耗品を整備し、教育環境のさらなる充実に努める必要があります。			
・課題に対する改善点 必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。				・取組 学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。			

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－３ 児童・生徒の安全確保と健康増進

小中学生専用なやみホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	8,173		7,880		4,232	7,211	0	7,211
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	「小中学生専用なやみホットライン」の相談数(件)	17	15	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		90.90	89.76	100.00
	「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	52	62	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		95.60	92.38	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 小中学生専用なやみホットライン周知のため、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配付するとともに、中学生への相談アプリを提供し、悩みの早期発見と早期対応に努めました。					・現状 生涯学習センター内に相談員が常駐し、相談を受けています。いじめの相談だけでなく、子どもたちが抱える多様な悩みや想いを受け止め、必要な支援に繋がるよう対応しています。				
・評価 児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、「誰にも相談できない」「誰に相談したらいいかわからない」ことも少なくないと捉えています。また、匿名での相談も少なくないことから、こうした子どもたちが迷わず、安心して相談できるような相談体制の構築に努めていく必要があります。					・課題 悩みや困りごとを抱える児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう関係部局・関係機関との連携を一層強化していく必要があります。				
・課題に対する改善点 子どもたちが迷わず、安心して相談できるよう、相談窓口の周知に努めるとともに、相談を受けた際には、思い切って相談をしてきた児相生徒が、自身の想いを吐き出せるよう、まずは傾聴に努めるとともに、相談内容に応じて、適切な支援に繋げるよう努めました。					・取組 令和6年度も引き続き、ポスターやリーフレット等を作成し子どもたちの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、教育委員会内の各専門職の知見を活かしながら子どもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援していきます。				

Ⅱ－３ 児童・生徒の安全確保と健康増進

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにWEBQU（学級集団アセスメント）検査を実施します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	30, 763		34, 048	8, 463	32, 773	0	32, 773
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	小学校いじめ認知件数(件)	4, 954	4, 427	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果 (解消件数÷認知件数) (%)	90. 90	89. 76	100. 00
中学校いじめ認知件数(件)	475	407	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果 (解消件数÷認知件数) (%)	95. 60	92. 38	100. 00	
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 一人一台端末を活用した心の天気やWEBQU等を通じて児童生徒の状況把握に努めました。また、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザーといった専門性の高い人材を配置し、関係機関と連携しながら、多様な課題を抱える児童生徒の支援体制構築に努めました。					・現状 児童生徒数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ認知件数は、以前に比べ高い水準にあります。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめ等の事案に対して、学校現場において適切な対応を徹底し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいく必要があります。			
・評価 スクールロイヤー等による教職員向け研修を通じて、学校現場において、いじめ等の事案を早期に発見し、適切に対応できる体制の推進を図るとともに、事案を認知した場合には、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、安心して学校生活を送ることができる環境の確保に努めました。					・課題 いじめの未然防止、早期発見・早期解決のためには、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景として、多様な要因が存在することも想定されるため、様々な専門職や関係機関と連携した対応が求められます。			
・課題に対する改善点 令和5年度から、児童生徒本人及びその保護者、学校に対して第三者的な立場から助言等を行う生徒指導アドバイザーを1名配置しました。児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、引き続き専門性の高い人材を活用しながら児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めていきます。					・取組 いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。			

Ⅱ 学校教育

II－3 児童・生徒の安全確保と健康増進

学校給食公会計化事業	私会計である学校給食費の徴収及び食材費の支払いについて、市一般会計で取り扱う公会計化をはかり、教職員の負担軽減と、支出の透明性確保を図ります。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校教育課	1,012,078		1,069,824		14,104	1,048,957	1,009,281	39,676
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
収納率(%)	99.22	99.00	100.00					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 コンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行いました。				・現状 物価高騰の影響により、納付環境は厳しいことからより一層の納付環境整備が求められています。				
・評価 口座振替の啓発・コンビニ納付の運用により、円滑な納付環境整備を図ることができました。				・課題 物価高騰の影響により、適正額の徴収と負担軽減政策等の啓発が課題です。				
・課題に対する改善点 令和5年度の課題は納付環境の整備が課題であり、そのためコンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行い、その結果、日中、多忙な保護者等の支払いに係る利便性の向上を図ることができました。				・取組 第3子以降無償化制度や就学支援制度、生活保護制度など様々な制度啓発を併せて取り組みます。				

II－3 児童・生徒の安全確保と健康増進

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため市域を4地区に分け計11人の看護師を配置します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校教育課	22,737		19,833		8,463	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	11	医療的ケア児の対応(時間)		1,614	1,847	2,400
医療的ケア児の数	6	6	6					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 短時間ケアにも対応できるよう環境整備に努め、保護者負担軽減を図りました。				・現状 本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。				
・評価 サポート看護師間の連携を図り、医療的ケア児が安心して学校生活をおくることができ、保護者負担軽減を図ることができました。				・課題 本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。				
・課題に対する改善点 令和5年度も保護者負担が課題であり、様々な悩みを抱えた医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるよう教育体制の拡充に努めました。その結果、保護者負担の軽減を図ることができました。				・取組 本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－４ 特別支援教育、教育相談の充実・構築

特別支援教育推進事業	特別な支援が必要な児童生徒に対して継続的に関係機関と連携して支援を行います。教師一人ひとりが特別支援教育への理解を深め、よりよい支援ができるように研修の充実を図ります。（知的・情緒・言語・難聴・特別支援コーディネーター等）就学前児、就学児（小中）を対象に相談を受け、保護者や本人の意向及び心理士による専門的な見立てを基に、適切な就学先の提供に努めます。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	10,410		10,010	8,484	16,529	0	16,529
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	就学相談件数(件)	401	403	410	特別支援教育研修対象者(延べ人数)	134	143	157
	特別支援教育研修回数(回)	13	13	15				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度より市教育委員会主催の就学説明会を行い、未就学児や小学6年生に対して特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室や就学相談の流れを説明しました。 大学教授や特別支援学校のコーディネーターや言語聴覚士など、様々な分野の講師を招聘し、それぞれの障害種に適した研修を実施しました。				・現状 就学説明会を4月・5月(各月共に午前・午後1回ずつ)の計4回実施します。 令和5年度より特別支援スーパーバイザーを市独自で雇用し各学校を巡回して支援していきます。				
・評価 就学説明会を行うことで、保護者に就学相談の見通しをもってもらうことができました。面談を丁寧に行っていくことで、保護者や本人が希望する就学先への進学や転級を実現することができました。				・課題 特別支援学級の増加により、特別支援教育の経験が浅い教員や、若手の教員が増えているため、専門性を向上することが必要です。				
・課題に対する改善点 就学相談を円滑に進めていくために、カウンセラーの雇用人数や勤務時間を増やすことで、改善につなげます。 専門性の高い講師を招聘することで、教員の専門性の向上に努めます。				・取組 特別支援教育の専門性向上につながる研修をより多くの教員が受講できるように、オンライン形式で実施したり、夏季休業中に実施したりすることで、特別支援教育を推進していきます。				

Ⅱ－４ 特別支援教育、教育相談の充実・構築

教育研究企画室運営管理事業	教育相談窓口、教育支援センターを開設し、相談員や指導員、スクールカウンセラーによる児童生徒の心のケアを図ります。また、不登校児童生徒の学習・生活への適応指導、生活指導等のコーディネートを行い、児童生徒の社会的自立に向けた支援をします。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	43,568		43,067		39,182	58,523	0	58,523
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	相談件数(件)	1,902	2,249	2,250	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)(人)		86	100	120
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 心理士による教育相談を行い、児童生徒や保護者が抱える不登校等の悩みに寄り添った対応を進め、個々の状況の改善を目指します。教育支援センターフレンドステーションを運営し、学習指導や生活指導を通し、社会的自立を目指します。また、不登校児童生徒の保護者の方の情報共有の場である「不登校親の会」を年5回開催しました。					・現状 令和6年度5月末時点の教育相談件数は令和5年度と同程度です。教育支援センターの見学体験者についても定期的に申し込みがあります。また、令和6年度より設置した、八木北小学校内の校内教育センターの利用者は令和6年6月1日現在、11名となっています。				
・評価 教育相談では、学校や関係機関と連携を図りながら児童生徒の情報を共有し、個々に応じた指導や支援を進めました。教育支援センターフレンドステーションでは、定期的に利用する児童生徒が令和4年度よりも増加し、より認知が進みました。					・課題 令和5年度市内の不登校児童生徒は472名であり、増加する不登校児童生徒の居場所の拡充が課題となっています。新たに、公的施設やバーチャル空間の活用を予定していますが、今後も研究を重ねていく必要があります。また、事前の周知方法についても検討してまいります。				
・課題に対する改善点 多様化する相談に迅速かつ丁寧に対応することができるよう、スクールカウンセラーの配置時間を増加し、より幅広い相談に対応できるよう相談体制の強化を図りました。					・取組 ・教育支援センターフレンドステーションによる不登校児童生徒支援 ・「不登校親の会」の開催(令和5年度:4回→令和6年度:6回) ・スクールカウンセラーによる教育相談(来所相談、電話相談) ・医師による教育コンサルテーション ・公的施設における体験学習 ・バーチャル空間における教育相談、キャリア相談の実施 ・流山市立八木北小学校内の校内教育支援センターの設置				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ－５ つながりのある教育

流山市部活動支援事業		「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をもとに、部活動指導員を配置し、部活動の更なる活性化と教職員の働き方改革を図ります。																									
		担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算		R6特定財源		R6一般財源													
		指導課		19,976		19,908		7,052		19,784		0		19,784													
		主な活動指標		R4実績		R5実績		R6目標(予定)		主な成果指標		R4実績		R5実績		R6目標											
中学校に部活動指導員を配置(部活動数)		24		40		40		地域クラブの設置(クラブ数)		0		1		5													
令和5年度の実績と評価・改善点														令和6年度の実績・課題・取組み													
・取組														・現状													
市内中学校10校の4部活動に外部指導員を配置しました。学校と顧問と外部指導員が密に連携をとり、活動状況を把握することが生徒の成長につながっています。また、地域クラブのモデル事業として、南流山中学校ハンドボールクラブを新設しました。														令和6年度は、昨年度同様、市内10校の4部活動に外部指導員を配置しています。学校と顧問と外部指導員が連携をして、より充実した部活動を行うことができています。													
・評価														・課題													
年度末のアンケートによると、教材研究する時間が増え、業務改善につながった、専門的な知識・技術を持っている外部指導員の指導により、生徒の技術が向上した、複数で部活動を見られるので、一人ひとりの生徒と向き合うことができるようになったという肯定的な意見が多く挙げられました。														5月からの配置となったため、学校としては希望した部活動の顧問と連携をし、すみやかに実施したいという意向がありました。中学校3年生にとっては、7月が最後の大会となるので、継続して指導を望む声も挙がっています。													
・課題に対する改善点														・取組													
今後、より多くの中学校に配置することで、さらに多くの生徒が専門的な知識・技術を持っている外部指導員の指導を受けられるように事業を推し進めていきます。また、学校や教員との連携を密にすることを大切にし、教員の働き方改革にもつなげていきます。														定期的に、各校の職員や生徒に、指導者へのヒアリングを行い、4月以降も継続を希望するかどうかを確認していきます。また、契約の方法を複数年にする等、考えていきます。さらに、地域クラブを4〜5クラブ新設していきます。													

Ⅱ－５ つながりのある教育

幼児教育支援センター 運営事業		保幼小関連教育研究会を実施し、幼児教育から学校教育への円滑な移行を支援します。また、就学前の子供を持つ保護者や教職員を対象とした電話、来所、巡回相談等、幼児教育相談を実施し、関連機関との連携を図りながら、就学前教育を推進します。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
指導課		8,566		8,493		6,382		11,720	0	11,720
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
保幼小関連教育研究会開催回数(回)		3	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数(人)			276	302	315
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 保幼小関連教育研究会や小学校見学会・保幼児学会を実施し、幼児教育から小学校教育へのつながりについて研修を深めてきました。また、幼児を担当する教職員や保護者を対象に、電話や来所、巡回による幼児教育相談を実施しました。					・現状 5月の第1回保幼小関連教育研究会、6月から7月に実施される小学校見学会には、例年より多くの教職員の参加がありました。巡回相談についても、例年を上回る申し込みがあり、私立の幼稚園・保育園に対しても、保育内容の支援の方法等に関する助言を行っています。					
・評価 小学校見学会、幼保見学会を再開させ、幼児教育・保育と小学校教育の相互理解を深めることができました。一方で、幼児教育相談の相談件数が年々減少しており、周知の方法の改善が必要です。					・課題 配慮を要する子どもの保護者の中には、幼稚園等への就園に関する不安を持つ保護者もいることから、子どもの状況や保護者の願いについて丁寧に話を聞き、適切な学びの場や支援の方法について提案できるようにしていく必要があります。また、本市では、多くの幼児教育・保育施設から小学校へ入学する現状から、市独自の架け橋期カリキュラムの作成にも取り組んでいく必要があります。					
・課題に対する改善点 幼児教育・保育施設の教職員を対象とした巡回相談については、これまで年度初めに文書を通じて案内していましたが、令和6年度については、園長会等でセンターの職員が直接説明するとともに、3回(4月・8月・12月)に分けて案内し、多くの教職員の支援につなげていきました。					・取組 就園相談の実施について、広報「ながれやま」に掲載するとともに、幼児教育支援センターのリーフレットを刷新し関係機関に配架してもらう等、様々な方法で市民への周知を図ります。また、有識者の助言を得ながら、市独自のカリキュラムを進めてまいります。					

Ⅲ生涯学習

Ⅲ－１ 多様な生涯学習機会の充実

図書館資料購入事業	図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
図書館	40,422		40,401		14,104	41,228	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
図書購入冊数(冊)	14,009	14,575	14,791	蔵書冊数(冊)		524,047	531,118
視聴覚資料購入点数(点)	463	376	222	貸出点数(月平均)(点)		95,699	98,973
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 市民からのリクエストを参考にしながら計画的に資料を購入しました。特に、サンコーテクノプラザ南流山地域図書館が所蔵する児童書の拡充に取り組みました。				・現状 引き続き、図書館が所蔵すべき資料を計画的に購入します。			
・評価 図書は、一般図書8,969冊、児童図書5,247冊、参考図書359冊を購入しました。視聴覚資料は、CD172点、DVD78点、紙芝居126点を購入しました。電子書籍は519コンテンツを購入し、利用者に提供することができました。				・課題 視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方が図書館を利用しやすいよう、点字資料、大活字本、デジタル録音図書等のアクセシブルな資料の充実に努める必要があります。			
・課題に対する改善点 サンコーテクノプラザ南流山地域図書館の資料として、3,215冊を購入しました。そのうち児童書は、前年度の約1.4倍となる1,595冊でした。				・取組 視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方のほか、様々な時間や場所で「聞く読書」を楽しんでいただけるようオーディオブックサービスを導入します。			

Ⅲ－１ 多様な生涯学習機会の充実

子どもの読書活動推進事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
図書館	2,806		2,784		7,052	2,568	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
ブックセット設置施設数(施設)	14	70	62	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)		16,570	19,573
ブックセット設置冊数(冊)	922	2,464	1,936				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 新設の子育て関連施設や障害児通所支援事業所に基本のブックセットを設置したほか、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置しました。				・現状 子どもの読書環境の整備を継続的に支援し、子どもの読書活動を推進しています。			
・評価 基本のブックセットを新設保育所、障害児通所支援事業所等の30施設に、ブックセット第2便を未設置の保育所、児童センター、児童発達支援センター等の40施設に設置し、環境整備を支援することができました。				・課題 今後も子育て関連施設への「乳幼児向けブックセット」の設置を継続しつつ、子どもの読書活動をより推進していくための取り組みを広げていくことが課題です。			
・課題に対する改善点 子どもが様々な絵本に親しめる環境づくりを継続的に支援していくため、子育て関連施設に新たにブックセット第3便を設置する予算を計上しました。				・取組 新設の子育て関連施設のほか、地域子育て支援センターに乳幼児向けブックセットを設置します。また、ブックセット第2便を未設置の障害児通所支援事業所に、新たに開始する第3便を保育所等に設置します。			

Ⅲ生涯学習

Ⅲ－２ 生涯学習の環境整備

文化会館施設整備事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、文化会館の修繕・改修を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
公民館	128,992		105,440		7,533	1,349	1,200
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
工事進捗率(%)	100	100	100	利用者アンケート調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		47	46
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 施設の安全かつ適正な維持管理を図るため、ホールの特定天井改修工事、舞台床張替工事、排水設備改修工事及び市民会館棟外壁改修工事を実施し、施設環境の整備に取り組みました。				・現状 経年劣化による破損や老朽化が見られます。			
・評価 全ての工事において遅滞なく実施し、安全に配慮しながら工事を完了しました。				・課題 施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。			
・課題に対する改善点 ホール天井の脱落防止措置をとり、利用者の安全な環境整備を図ることができました。また、舞台床の張替、市民会館棟外壁改修工事を実施し、施設環境の維持向上を図ることができました。施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めて行く必要があります。				・取組 施設利用者の利便性向上のため、1階バリアフリートイレを改修します。			

Ⅲ－２ 生涯学習の環境整備

中央図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するために、中央図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
図書館	703		912		14,104	7,400	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
工事進捗率(%)	-	100	100	改修等実施件数(件)		-	1
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施し、非常用照明の更新を実施しました。				・現状 昭和53年の開館以来使用している建築物や設備が老朽化しています。			
・評価 不具合のあった非常用照明の更新を行い、非常時の安全性を確保することができました。				・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。			
・課題に対する改善点 経年劣化により不具合のあった非常用照明の更新を行うことで、非常時の安全性を確保し、安心・安全な施設環境の整備に資することができました。				・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。中央図書館の内装等改修工事設計業務委託を実施します。また、老朽化した書庫移動棚の更新を実施します。			

Ⅲ生涯学習

Ⅲ－２生涯学習の環境整備

南流山センター施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、南流山センターの修繕・改修を行います。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
公民館	2,000		1,707		2,596	35,721	32,100	3,621
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率(%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		51	62	65
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 エレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行いました。				・現状 経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・評価 遅滞なく実施しました。				・課題 施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。				
・課題に対する改善点 安心・安全な施設環境の維持向上及び施設の長寿命化を図るため、更新工事を予定しているエレベーターの設計業務委託を行いました。				・取組 施設の安全かつ適正な維持管理を図るため、エレベーターの更新工事を行います。またトイレの洋式化及び1階バリアフリートイレ内にオストメイト対応装置を設置する等の改修工事に取り組みます。				

Ⅲ－２生涯学習の環境整備

生涯学習センター整備充実事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、生涯学習センターの修繕・改修を行います。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
文化芸術・生涯学習課	9,150		10,146		4,232	105,540	99,100	6,440
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率(%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		60	57	60
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 体育館及びA館1階の演習室の床を一部張替える修繕工事などを行いました。また、令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行いました。				・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・評価 利用者の安全に配慮しながら、遅滞なく修繕工事を実施できました。				・課題 安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るため、計画的に修繕等を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 床の修繕工事により、体育館及び演習室の施設環境の向上を図ることができました。				・取組 エレベーターの更新工事及び体育館のエアコン設置工事を実施します。また、令和7年度の変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行います。				

Ⅲ生涯学習

Ⅲ－２ 生涯学習の環境整備

地域図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、地域図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
図書館	990		990		14,104	13,035	11,700
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
工事進捗率(%)	-	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		69	69
							70
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 森の図書館の地下雨水貯留槽の修繕を実施しました。				・現状 地域図書館において、経年劣化による破損や老朽化が見られます。			
・評価 森の図書館の地下雨水貯留槽の修繕を実施し、設備の機能を維持することができました。				・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。			
・課題に対する改善点 森の図書館の老朽化した地下雨水貯留槽の修繕を実施したことにより、防水効果の向上が図られ、雨水をトイレ用水に利用する機能を改善することができました。				・取組 森の図書館の東棟勾配屋根の修繕を実施します。			

Ⅲ－２ 生涯学習の環境整備

博物館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、博物館の修繕・改修を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
博物館	567		828		7,052	2,500	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
工事進捗率(%)	-	100	100	改修等実施数(件)		-	1
							1
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施し、非常用照明の更新を実施しました。				・現状 昭和53年の開館以来使用している建築物や設備が老朽化しています。			
・評価 不具合のあった非常用照明の更新を行い、非常時の安全性を確保することができました。				・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。			
・課題に対する改善点 老朽化した建築物や設備の改修を行い、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げました。				・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。博物館の内装等改修工事設計業務委託を実施します。			

Ⅲ生涯学習

Ⅲ－２ 生涯学習の環境整備

公民館等Wi-Fi整備事業		各公民館、南流山センター、おおたかの森センターにWi-Fi機器を整備します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
公民館	1,757		1,757		1,411	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
ホール会議室への設置率(%)	-	100	-	延べ貸出回数(回)		-	411	-
令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 施設利用者の利便性向上を図るため、各公民館、南流山センター、おおたかの森センターに貸出用Wi-Fi機器を整備しました。				・現状 令和5年度で事業は終了しました。				
・評価 遅滞なく実施しました。				・課題 令和5年度で事業は終了しました。				
・課題に対する改善点 インターネット環境を整備し、利用者の利便性向上を図るため貸出用Wi-Fi機器を配置しました。ニーズを調査し把握した上で、今後の使用について検証が必要になります。				・取組 令和5年度で事業は終了しました。				

IV文化芸術・歴史

IV－1 市民主体の文化芸術活動の促進							
文化祭開催事業	市内の文化芸術団体の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
文化芸術・生涯学習課	1,300		1,300		2,116	1,300	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
イベント実施数(回)	23	24	24	延べ観覧者数(人)		5,665	6,144
							6,200
令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 スタートおたかの森ホールで開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、公民館や生涯学習センターを会場に、10月21日から11月19日まで各団体による展示や発表を実施しました。				・現状 毎年、文化祭実行委員会の企画・運営による「流山市文化祭」を開催しています。			
・評価 オープニングセレモニー・イベントでは、参加型ワークショップや展示・発表に、前年度を上回る多くの方に来場いただきました。また、各団体による展示や発表についても、多くの来場者で賑わいました。				・課題 年々、来場者数は増加していますが、参加団体（実行委員会）の高齢化が進んでいます。			
・課題に対する改善点 文化会館の改修工事により、例年とは異なる会場での開催となった団体もありましたが、問題なく、順調に実施できました。				・取組 オープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表を実施します。また、広報ながれやま、市ホームページ等による新規参加団体の募集に努めます。			

IV文化芸術・歴史

IVー2 歴史的文化的遺産の保存・活用

指定等文化財保存活用整備事業	市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	博物館	47,542		19,195		4,937	65,255	64,200	1,055
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	工事の進捗率(%)	-	20	70	現地見学会の参加人数(人)		42	144	180
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 保存修復工事内容を周知するための見学会を行いました。				・現状 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の外観部の保存修復工事を進めています。					
・評価 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の見学会を4回実施し、延べ144名の参加があり、文化財修復への理解と関心を高めることができました。				・課題 令和7年度の公開に向けた内部の修理及び公開施設の整備を進めていく必要があります。					
・課題に対する改善点 保存修復工事の方針が決定し、建物内部の設計変更を実施しました。				・取組 保存修復工事を進めながら、見学会を開催し、文化財の保存や修復についての周知を図ります。					

IVー2 歴史的文化的遺産の保存・活用

埋蔵文化財整理室及び収蔵庫整備事業	市内各所にある埋蔵文化財関連施設を鰐ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）へ集約し、一元的な管理を行います。また、出土遺物・資料の公開を行うため、埋蔵文化財・収蔵・展示施設を開設します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	博物館	30,147		30,625		7,052	25,000	0	25,000
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	鰐ヶ崎整理室への整理室・収蔵庫移転・集約件数（件）	10	20	70	鰐ヶ崎整理室の稼働率（％）		10	20	70
鰐ヶ崎整理室の修繕・工事進捗率（％）		-	35	80					
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 八木南小学校内整理室2室分の移転及び鰐ヶ崎整理室3階のパーテーション撤去・電源移設工事、残置物撤去作業などを実施しました。					・現状 流山北小学校内整理室や市内各所に分散する収蔵庫の移転・集約及び鰐ヶ崎整理室1・2階の修繕・工事と残置物撤去作業を進めます。				
・評価 通常業務に影響を及ぼすことなく、実施できました。					・課題 流山北小学校内整理室及び市内各所に分散する収蔵庫の移転と並行して、鰐ヶ崎整理室の施設修繕・工事が必要となります。				
・課題に対する改善点 埋蔵文化財整理室・収蔵庫移転及び鰐ヶ崎整理室の施設修繕・工事を計画的に進めることができました。					・取組 鰐ヶ崎整理室に整理室・収蔵庫を移転・集約し、同施設の修繕・工事、残置物撤去を行います。				

Vスポーツ

V-1 スポーツ活動の促進

スポーツ講習会・大会開催事業		スポーツ講習会や大会を通じてスポーツ活動の機会を拡充します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
スポーツ振興課	24,758		22,989		14,104	25,649	0	25,649
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
流山ロードレース大会実行委員会開催回数(回)	6	6	6	流山ロードレース大会参加者数(人)		1,658	2,663	3,000
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 気軽に参加できるファンランを導入し、参加費用についても見直しを図りました。また、う回路員については、ボランティアを廃止して業務委託とし、トラブルの防止を図りました。				・現状 流山ロードレース大会を昨年度と同じコースで実施します。魅力ある大会を目指し、市内におけるスポーツ機運の向上に努めていきます。				
・評価 4年ぶりにお子さんも気軽に参加できるファンランを実施し、昨年度より参加者数が679名増加しました。また、う回路員のボランティアを廃止することでトラブルを防止しました。				・課題 新型コロナウイルス感染症により離れてしまったランナーを呼び戻し、より多くの参加者を募ることが必要です。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症による参加者の落ち込みを回復させるため、コロナ対策の解除や近隣都県の実業団や大学へのDMやSNSによる発信、ケーブルテレビへの出演等周知活動を行ったほか、ファンランや表彰式を再開しました。				・取組 今年度は、協賛企業ののぼり旗作成、団体・ペア申し込みでの割引や参加者に抽選で景品を用意するなど、魅力ある大会を目指し参加者増加を図ります。				

Vスポーツ

V-2 スポーツ環境の整備

体育施設改修・整備事業	総合運動公園庭球場(1～4面)人工芝全面張替え工事、コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	スポーツ振興課	224,308		282,656		10,578	118,200	105,812	12,388
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					屋内外体育施設利用者実数(人)		748,628	813,525	888,000
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 市民サービス向上に努めるとともに、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ環境を利用者に提供しました。					・現状 近年、熱中症の危険性が懸念されている中、市民が安心してスポーツ活動を行える環境を整備する必要があります。				
・評価 総合運動公園庭球場5-12面拡張整備工事を実施し、より多くの市民が庭球場を利用できる環境を整備しました。					・課題 コミュニティプラザ体育室は、年間通して多くの市民が利用しており、夏季期間における熱中症対策として、空調設備の設置が求められています。				
・課題に対する改善点 屋外にあるテニスコートには雨除けとしての設備がなく、突発的な降雨に対応できなかったことから、利便性向上のため屋根等の設備を設置しました。					・取組 コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事を実施します。				

V-2 スポーツ環境の整備

体育施設備品等整備事業	施設備品の適正な維持管理をするとともに、体育施設利用者のスポーツに対する熱意の向上と安全性の確保を図るため、必要な備品等を整備するものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	スポーツ振興課	4, 419		5, 112		3, 526	984	0	984
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					屋外型AED収納ボックス設置率(%)		-	100	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校開放による施設利用に対応するため、屋外型AED収納ボックスを設置しました。				・現状 コミュニティプラザの老朽化したバレーボール支柱の更新及びグラウンド整備用の器具の購入を行います。					
・評価 年度内に屋外型AED収納ボックス29台の設置を全て完了することができました。				・課題 バレーボール支柱は設置から34年が経過しており、速やかに更新する必要があります。また、グラウンド整備用の器具がないことにより、グラウンド整備の改善が図れないことから速やかに購入する必要があります。					
・課題に対する改善点 室内に設置していた小中学校のAEDを全て屋外に配置し、校舎のガラスを割ることなく利用することが可能となりました。また、学校開放による施設利用団体へは、各学校で行われる施設利用説明会の中で屋外のAEDの場所を必ず確認するよう指示しました。				・取組 令和6年6月末までに備品購入を図り、利用者の利便性向上を図ります。					

5. 学識経験者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する方2名を点検評価委員に委嘱した。以下は、点検評価委員からの意見である。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、あらゆる教育活動が、新型コロナウイルス感染症以前に復旧すべく、対策と工夫を重ねながら取り組んだ一年だったと思います。教育活動に携わる教育行政や教育の現場の皆様にはまずは敬意を表します。

1 全体的な評価

教育委員会が所轄する「子ども・子育て」、「学校教育」、「生涯学習」、「文化・芸術」「スポーツ」の5つの諸事業全般について、限られた予算のなか、創意と工夫を図りながら充実した事業展開をしていると評価します。教育にはお金がかかります。学校教育をはじめ、子ども・子育て、生涯学習等、教育予算の拡充をお願いします。十分な予算確保ができず、せっかくのアイデアも実現できなかったり、十分に展開できなかったりということが起きないように、前例にとらわれず、現場や関係者の声、市民の声を十分に反映した教育活動を展開するための予算を確保してください。

学校教育では、特別に支援を要する児童生徒への対応をはじめ、いじめ防止や悩み相談に注力し、安心安全な学校生活が送れるよう適切な対応がなされているものと評価します。しかし、これらの対応には完全なものはありません。対応の不備を突かれて問題が生じます。点検と検証を怠ることなく今後もより効果的な対応を目指して取り組んでください。

生涯学習の分野では、多様な生涯学習の機会を充実させるための取組について、図書館活動や読書活動の充実ばかりでなく、幅広い視野・視点で他分野での学びの機会を創設してってください。

文化芸術・歴史の分野では文化祭開催事業の今後の展開が心配です。

参加団体の高齢化が課題になっています。幅広い年齢層が参加できる企画をぜひお願いします。それには市内外の文化芸術活動をされている方々の声や意見、提案を反映していくことが解決策のひとつとなります。持続的・発展的な文化祭開催事業が今後展開されていくことを期待します。

また、教育関連施設の老朽化対策についても今後も予算を確保し、継続的に遅滞なく実施されるようお願いします。

以下、個別の事業について意見を述べていきます。

2 個別の事業ごとの評価

I 子ども・子育て

I-1 学童保育運営事業

学童クラブの利用者は増加傾向が著しいです。利用者ニーズの多様化への対応、支援員の資質や指導力等の向上を図り、充実した研修ができたこと、支援員の確保のための処遇が改善されたことを評価します。引き続き支援員の資質向上を図るとともに、人員確保のための処遇改善に努めてください。

I-2 青少年相談事業

相談窓口への潜在的なニーズは高いと思われます。相談室だよりを年4回の発行にするなど、周知に努めていますが、相談件数の増加にはあまり結びついていないようです。引き続き相談窓口の周知や相談しやすい窓口の設置に工夫を重ねて尽力してください。

II 学校教育

II-1 確かな学力の育成

(1) 小中学校外国語教育推進事業

ALT 活用の実績がまだ少ない小学校での ALT 活用が課題です。ALT と連携した学習の狙いに即した授業づくりが求められます。中学校での ALT の活用実績は参考になるのではないのでしょうか。小中連携した研修も効果的かと思います。

研修を充実させ、適切な活動と評価となるよう図ってください。

(2) 小学校教育指導運営事業と中学校教育指導運営事業

探求的な学習を進めるためのインターネット百科事典の導入の

取組を評価します。また、読書活動推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の充実と学校図書館司書の増員を一層図ってください。

(3) 地域による学校支援事業

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）がまだまだ、定着していないようです。学校支援ボランティアはそれぞれの学校のニーズにおいて求められるものです。そのためには、児童生徒の実態に応じて、それぞれの学校の課題を明確にし、それを支援すべく地域の学校支援ボランティアの発掘が肝要です。まだまだ日の浅い事業ですのでその学校ならではの取組となるよう創意工夫をこらし、着実に進めていってください。

(4) 学校水泳指導等支援事業

本事業は学校における水泳指導の様々な課題を解決する大変有効な取組と評価します。今後も実施校をさらに拡大するなど、充実を図ってください。委託業者の開拓など諸課題もあると思いますが、教員の働き方改革にもつながりますので一層の充実をお願いします。

Ⅱ－２ 教育環境の整備

(1) ICT 学習空間整備事業

ICT 学習空間環境整備が着々と進んでいることを評価します。指導する教員のスキルの差が課題です。ICT 活用の研修も充実を図っているようです。今後とも創意工夫し、実態を改善すべく一層の取組をお願いします。

(2) 学校施設の改修事業、学校新設事業等について

学校施設の改修や新設小学校建設、中学校移転事業など、教育施設の整備が遅滞なく行われていることを評価します。経年劣化した施設設備は速やかな改善を今後も図ってください。

(3) 担任サポート教員配置事業

学級編成において、国の学級編成標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置する事業を大変評価します。教員の激務を軽減する取組です。今後も継続的に実施してください。

Ⅱ－３ 児童・生徒の安全確保と健康増進

(１) 小中学生専用なやみホットライン相談事業といじめ等防止対策推進事業

両事業ともいじめ等対策推進事業として効果を上げていると評価します。相談窓口も専用アプリを活用するなど、相談しやすい体制を整えています。引き続き相談体制を整備充実させ、いじめや不登校等の課題解決にあたってください。

(２) 学校給食公会計化事業

学校給食の無償化を検討できないでしょうか。是非、実現してください。

(３) 学校サポート看護師派遣事業

医療的ケアの必要な児童生徒への対応のため大切な支援事業です。今後も学校のニーズを的確に把握し、派遣事業を充実させてください。

Ⅱ－４ 特別支援教育、教育相談の充実・構築

(１) 特別支援教育推進事業

前年度同様に特別支援教育の経験の浅い教員や若手の教員が増えているため、専門性を高めることが課題のようです。解消に向けた職員研修の充実により課題解決を図っています。また、就学相談を円滑に進めるための改善への取組も評価します。今後もこの事業の拡充を図ってください。

(２) 教育研究企画室運営管理事業

不登校児童生徒への対応として重要な事業です。教育支援センターフレンドステーションでの取組も成果を上げています。今後も支援事業の充実を図ってください。

Ⅱ－５ つながりのある教育

(１) 流山市部活動支援事業

部活動外部指導員の配置は教職員の働き方改革を図るために重要な支援授業です。教職員へのアンケート結果からも教員の業務改善が図られたことがわかります。着実に成果を上げている事業ですので今後もより多くの外部指導員を確保し、学校の要望や希望に迅速に対応できるよう、一層の事業の整備と拡大に尽力して

ください。

Ⅲ生涯学習

Ⅲ－２生涯学習の環境整備

(１) 各種生涯学習施設の整備事業や改修事業は利用者の安心・安全確保には重要なことはもとより、利便性の向上のためにも欠かせない事業です。今後も遅滞なく整備・改修をお願いします。

(２) 公民館等 Wi-Fi 整備事業

遅滞なく事業が終了したことを評価します。

Ⅳ文化芸術・歴史

Ⅳ－１文化祭開催事業

幅広い年齢層の参加、特に若年層の参加が課題です。市内の代表的な文化の祭典として今後も充実した文化祭となるよう尽力してください。

Ⅴスポーツ

Ⅴ－１スポーツ講習会・大会開催事業

流山ロードレース大会に参加者が戻ってきました。参加者増につなげるさまざまな取組を評価します。

点検評価委員 千田 茂夫

1 全体的な評価

令和５年度は、新設の小学校に加え、大学を中学校、中学校を小学校、施設変更しての３校同時開校へ向けての一年は多種多様なご苦勞があったと窺えます。ふたつの小学校では開校と同時に学童クラブの開設も完了させました。他に教育委員会が所轄する諸事業の展開も計画通り執り行った各部署と関連機関に敬意を表します。

2 個別の事業ごとの評価

I 子ども・子育て

I－１ 学童クラブの充実

新設小学校の開校と同時に学童クラブの開設を完了し、待機児童ゼロは素晴らしいと思います。運営・施設整備は重要と考えます。指定法人に委ねられている運営ですが、任せきりとせず、研修等を行い法人のスキルアップと処遇改善ができたことを評価します。

I－２ 青少年の健全育成の促進

青少年相談事業は、特別相談窓口として平日時間外を開設したが相談件数に結び付かなかったということですが、昨年 of 休日開設に続きいろいろ試みていると推察します。今後も窓口を広くして継続をお願いします。

II 学校教育

II－１ 確かな学力の育成

小学校の外国語教育に関して ALT スーパーバイザーの授業参観等をとおして市内で統一した授業の型ができつつあるということに期待します。

中学校 ALT 配置事業に関しては、ALT が英語の授業だけでなく日常的な関りを通して「活用できる英語」の習得を促すことができた事を評価します。

小・中学校ともにインターネット百科事典が導入されたことに期待します。学校図書館司書による日常の取り組みを評価の上、

読書活動の推進をお願いします。

地域による学校支援事業に関して、学校支援コーディネーターの役割が大きいと思いますので、今後も活躍を期待します。

学校水泳指導等支援事業は、児童・教職員ともに高評価の事業です。実施校が7校と増えました。新設したプールを持つ学校の処遇が気になります。

Ⅱ－２ 教育環境の整備

ICT学習空間整備事業に関しては、ICT教育推進リーダーの育成を図り活用促進に努めた結果、学習支援ソフトの活用率が向上したことを評価します。

校舎等の改修事業はほぼ予定通り行われています。各校屋内運動場への空調機設置・エレベーターの増設が完了できたことを評価します。

おおたかの森小学校区の児童数増加に対応しての市野谷小学校の開校、南流山地区の児童数増加に対応して東洋学園大学旧校舎を改修して南流山中学校の移転開校、南流山中学校を改修して南流山第二小学校の開校、特に南流山中学校では運営しながらの改修作業ということで安全を優先しての作業となり、学校現場の理解と協力があつたと思います。3校とも開校に当たり必要な事務用消耗品・教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ったことを評価します。

担任サポート教員配置事業に関しては、適正な配置人数を確保できたことを評価します。

Ⅱ－３ 児童・生徒の安全確保と健康増進

小中学生専用なやみホットライン相談事業に関して、「小中学生なやみホットライン」の周知と中学生への相談アプリの提供が相談しやすくなったように感じます。多い事を悪い事と捉えず、相談できる子が増えたと捉えていただき対応をお願いします。

いじめ等防止対策推進事業に関して、スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携して迅速に対応できた事が認知件数の減少に繋がったのかもしれませんが。

学校給食公会計化事業に関して、口座振替に加えコンビニ納付

の運用は利便性を感じる保護者もいるでしょう。納付率99%ですからどちらの利用が多いという数字は必要ないですが、関係機関の創意工夫を感じました。

学校サポート看護師派遣事業に関しては、医療的ケア児を持つ親にとっても安心して通学できる要素となります。ケア児の情報や対応等、関係者が共有し安心・安全に就学できる環境を確保できたことを評価します。

Ⅱ－4 特別支援教育、教育相談の充実・構築

特別支援教育推進事業に関しては、様々な分野の講師を招き研修するなど特別な支援が必要な児童生徒に対し熱心な対応が窺えます。市教育委員会主催の就学説明会で、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室や就学相談の流れを確認できた保護者は、選択肢がいろいろあることに気づかされたと思います。面談の上、保護者や本人が望む就学先への進学や転級が実現できたことを評価します。

教育研究企画室運営管理事業は、不登校児童生徒の保護者の情報共有の場である「不登校親の会」が開催されていることを高く評価します。

Ⅱ－5 つながりのある教育

地域による学校支援事業に関しては、学校支援コーディネーターが活躍され、適材適所に地域の人材を派遣して教育活動の充実が図られています。

部活動支援事業は、外部指導員の配置数が増加しています。教職員の働き方改革の為に地域の人材が活かされることを期待します。

幼児教育支援センター運営事業は、保幼小関連教育研究会が実施され、情報の共有や学び合いができていることを評価します。

Ⅲ 生涯学習

Ⅲ－1 多様な生涯学習機会の充実

図書館資料購入事業に関しては、予算を考慮して幅広い分野の資料を購入できたことを評価します。

子どもの読書活動推進事業でのブックセット設置施設数の増加、ブックセット第2便の設置、どの施設を利用しても絵本に親しむ機会ができたと評価します。

Ⅲ－２生涯学習の環境整備

各施設の整備改修事業ですが、安全に配慮し計画通りに行われました。利用者が安心して使用できる環境整備を評価します。

公民館等 Wi-Fi 整備事業は、インターネット環境を整備して、貸し出し用 Wi-Fi 機器の配置は貸出回数の実績に繋がっています。

Ⅳ文化芸術・歴史

Ⅳ－１市民主体の文化芸術活動の促進

文化祭開催事業は、コロナ禍前の水準に戻り開催した昨年度より観覧者数が増えています。実行委員会と関係者の尽力を評価するとともに事業費補助の継続をお願いします。

Ⅳ－２歴史的文化的遺産の保存・活用

国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の見学会を実施して文化財修復への理解と関心を高めたのは有意義でした。

埋蔵文化財については、市内各所の関連施設から鱈ヶ崎整理室への集約した管理が計画的に進められていることを評価します。

Ⅴスポーツ

Ⅴ－１スポーツ活動の促進

大会開催事業としてロードレース大会が4年ぶりにお子さんも参加できるファンランを実施したことにより参加者増加で開催できた事、う回路員をボランティアから業務委託へ変更した事、実行委員会のご尽力を評価し、永年続いている事業の益々の発展を期待します。

Ⅴ－２スポーツ環境の整備

体育施設改修・整備事業、備品等整備事業は計画通り進んでいます。学校開放による施設利用は、生涯スポーツを楽しむ市民に

は欠かせないものです。屋外型 AED 収納ボックスの設置は、安心・安全なスポーツ環境の提供に繋がります。

3 評価表の形式や表現について

事業内容が把握し易く、評価表も分かり易いものになっています。

点検評価委員 井田 尚子